

3. ご家族に関すること

これまでの調査で家族と県民の幸福実感には密接な関連が見られることがわかりました。これまでは、主に結婚、子どもという面から分析をしてきましたが、高齢者介護の問題など、異なる視点から分析をしていくことも必要と考えています。

ここでは、「ご家族に関すること」をテーマとして質問した「同居の家族の人数」、「介護が必要な家族の有無」、「近所付き合いや地域での活動の状況」などの集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
同居の家族の人数	・現在、一緒に暮らしているご家族は、あなた自身をふくめて全員で何人ですか。 (問3)
同居の家族との関係	・現在、一緒に暮らしているご家族は、あなたから見てどのような関係ですか。 (問4)
別居の家族の有無	・ご家族のうち、単身赴任など一時的に別に生活している方はいますか。 (問5) (別居の家族がいらっしゃる方へ) ・その方は、あなたから見てどのような関係ですか。 (問5 - 2)
介護が必要な家族の有無	・現在、あなたをふくめて、ご家族のうち、介護が必要な方はいますか。 (問6)
子どもの人数	・お子さんは何人いらっしゃいますか。 (問7)
近所付き合いや地域での活動の状況	・あなたは、日ごろ、ご近所付き合いや地域での活動(自治会、青年団、子供会など)をされていますか。 (問8)

現在、一緒に暮らしているご家族は、あなた自身をふくめて全員で何人ですか。一人暮らしの方は「1」とご記入ください。

問3

➤ 同居の家族の人数

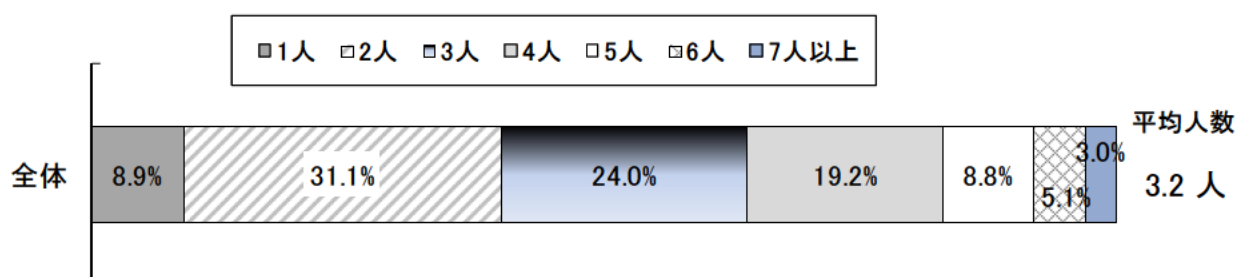
○ 同居する家族の数を質問したところ、「2人」の割合が31.1%で最も高く、次いで「3人」(24.0%)、「4人」(19.2%)、「1人」(8.9%)、「5人」(8.8%)の順となっています。

また、家族の平均人数はご自身も含め3.2人となっています。

○ 属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)

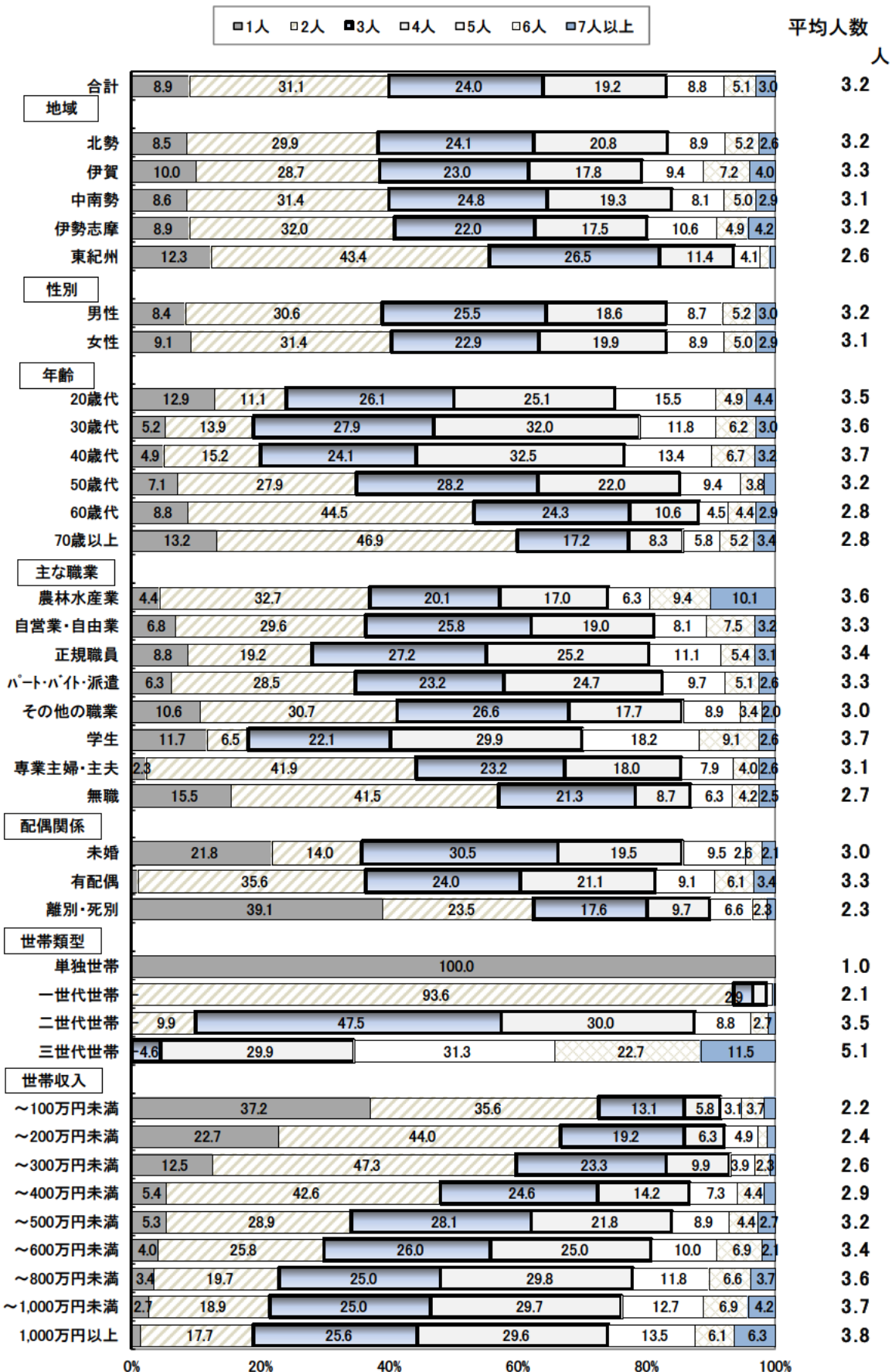
- ・東紀州は「1人」の割合が全体より3.4ポイント、「2人」の割合が全体より12.3ポイント、「3人」の割合が全体より2.5ポイントそれぞれ高く、地域別では最も高い。
- ・60歳代は「1人」と「2人」を合計した割合が50%を超え、70歳以上は「1人」と「2人」を合計した割合が60%を超えている。
- ・世帯収入の階層が高いほど、「1人」の割合及び「1人」と「2人」を合計した割合が低い。

図表 2-3-1 同居の家族の人数



※「不明」を除いて回答割合(%)や平均人数を算出しています。

図表 2-3-2 同居の家族の人数(属性別)



※「不明」(未回答など)を除いて回答割合を算出しています。

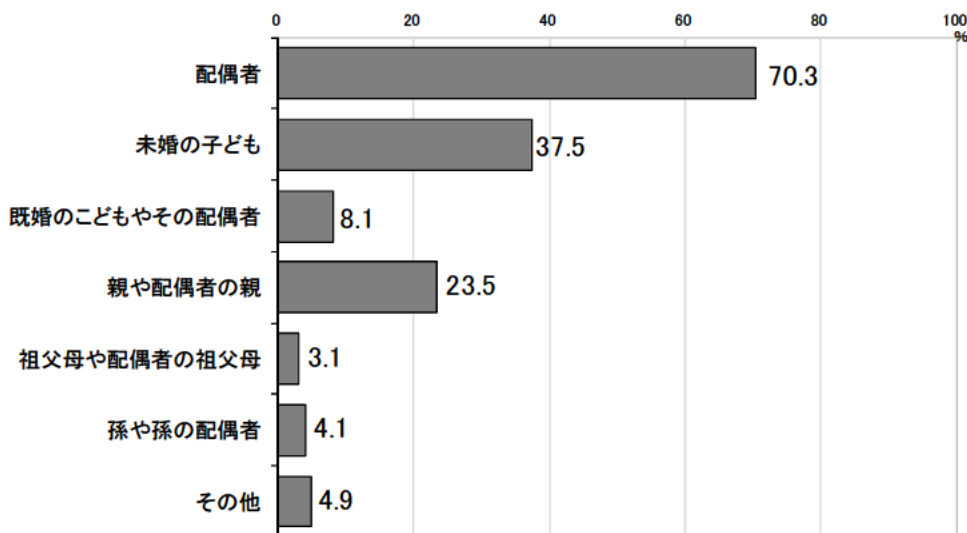
現在、一緒に暮らしているご家族は、あなたから見てどのような関係ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

問4

➤ 同居の家族との関係

- 同居している家族との関係を質問したところ、「配偶者」の割合が70.3%で最も高く、次いで「未婚の子ども」(37.5%)、「親や配偶者の親」(23.5%)となっています。

図表 2-3-3 一緒に暮らしている家族(世帯年収別)



ご家族のうち、単身赴任など一時的に別に生活している方はいますか。(○は1つだけ)

問5

(問5で「一時的に別に生活している家族がいる」と回答した方に)

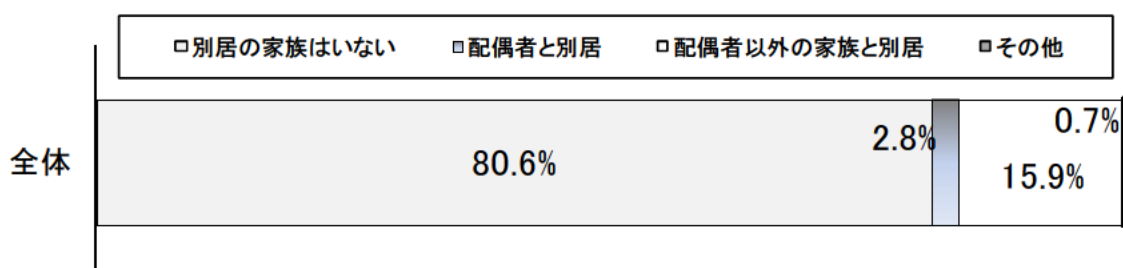
その方は、あなたから見てどのような関係ですか。

問5-2

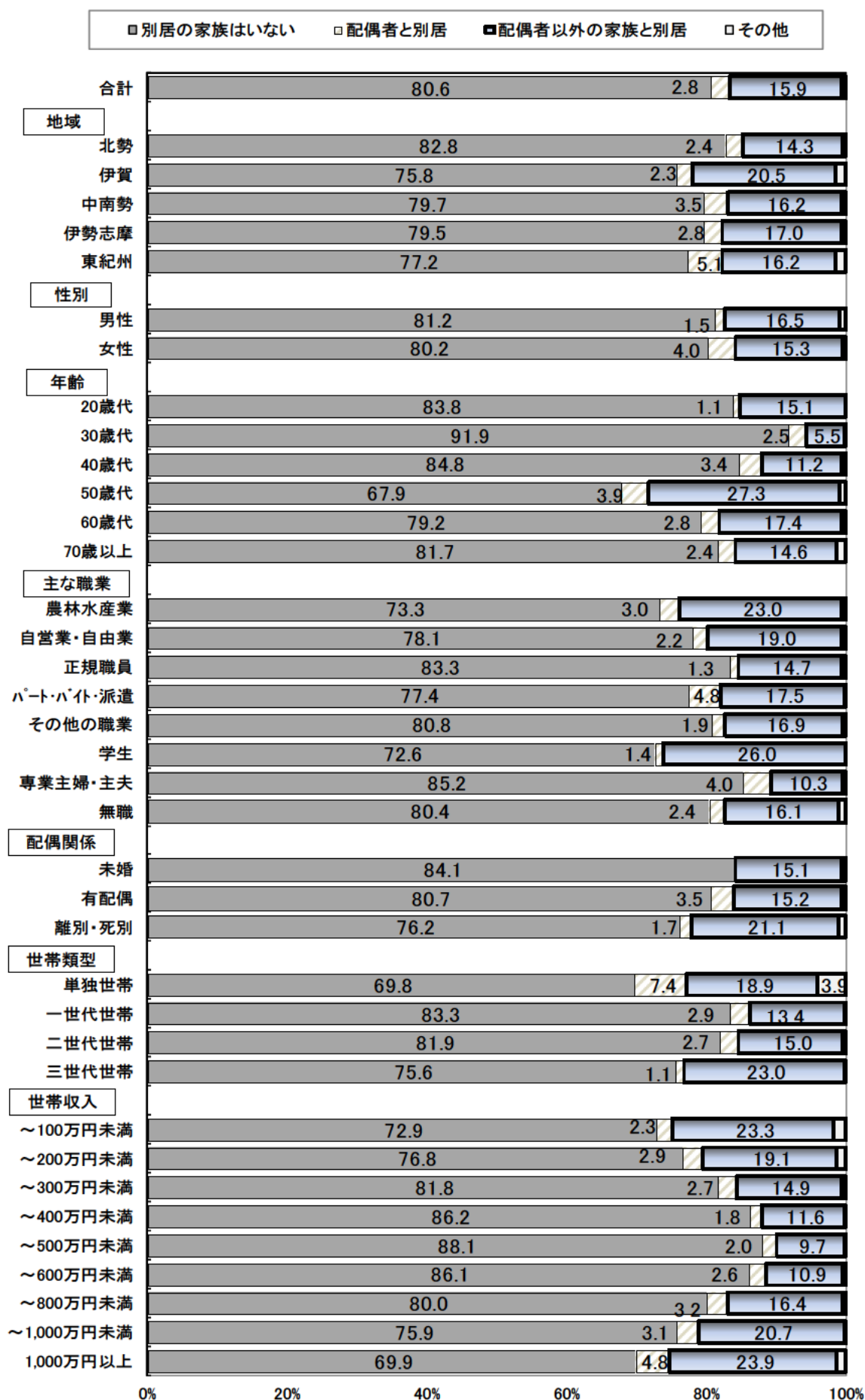
➤ 別居の家族の有無とその関係

- 別居の家族の有無と別居家族との関係を質問したところ、「一時的に別に生活している家族がない」の割合が80.6%、「配偶者と別居」が2.8%、「配偶者以外の家族と別居」が15.9%となっています。

図表 2-3-4 別居の家族の有無、関係



図表 2-3-5 別居の家族の有無、関係(属性別)



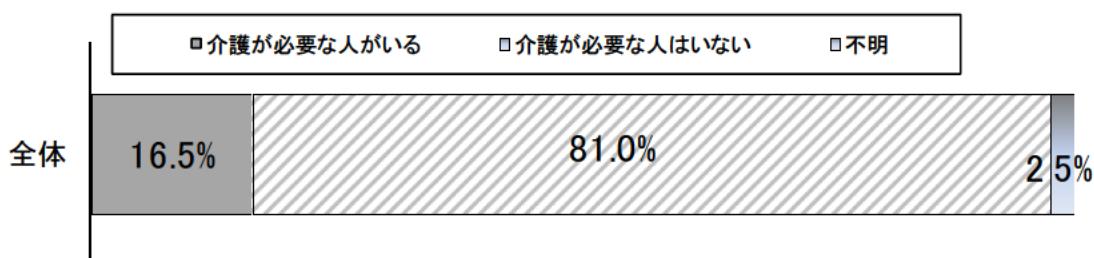
現在、あなたをふくめて、ご家族のうち、介護が必要な方はいますか。(〇は1つだけ)

問6

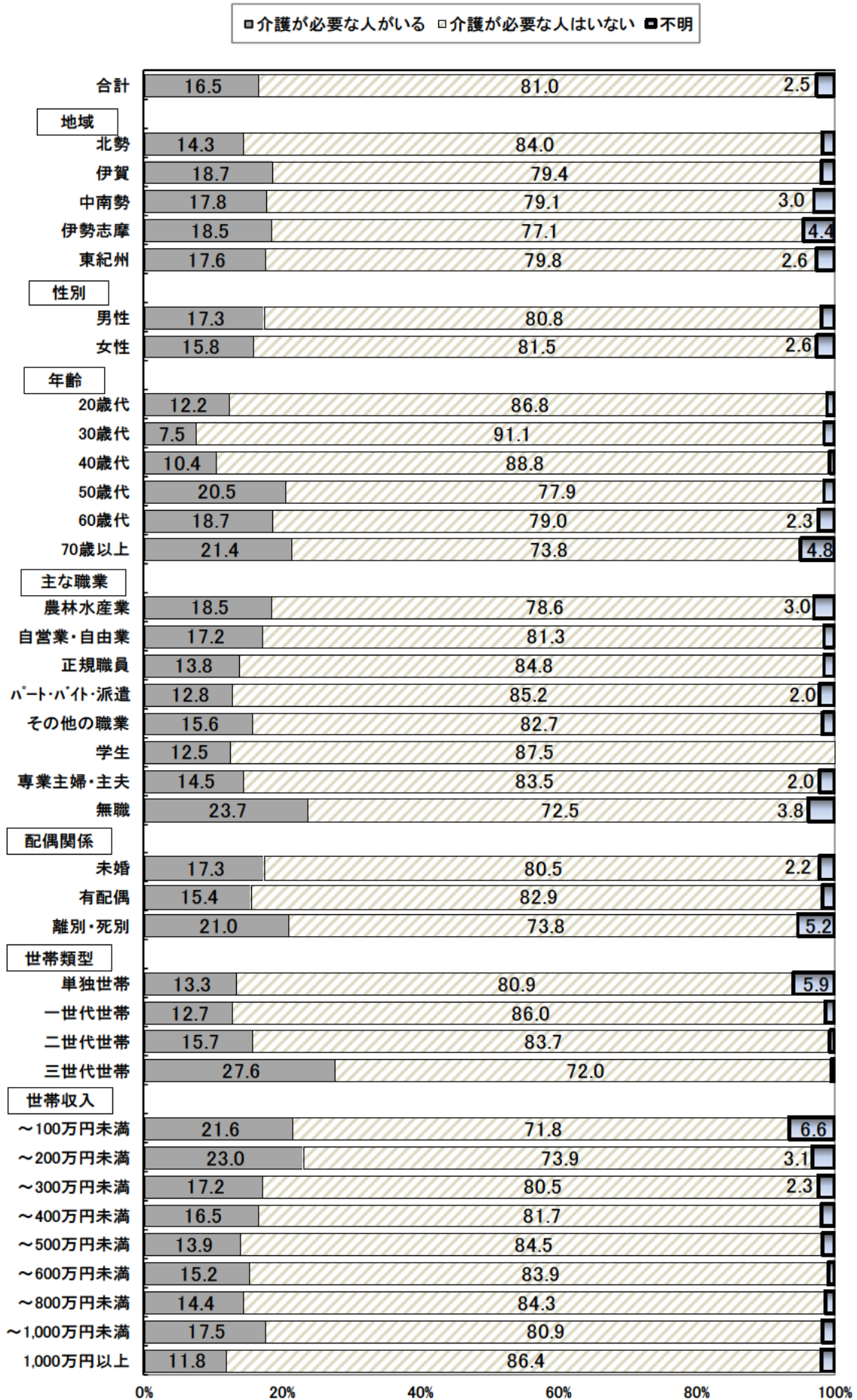
➤ 介護が必要な家族の有無

- 介護が必要な方の有無を質問したところ、「介護が必要な人がいる」の割合が 16.5%、「介護が必要な人はいない」が 81.0%で、「介護が必要な人はいない」の割合が高くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・ 50 歳代以上は「介護が必要な人がいる」の割合が全体より 2 ポイント以上高く、50 歳代と 70 歳以上は 20%を超えている。
 - ・ 無職は「介護が必要な人がいる」の割合が 23.7%で、全体より 7.2 ポイント高く、主な職業別では最も高い。
 - ・ 離別・死別は「介護が必要な人がいる」の割合が 21.0%で、全体より 4.5 ポイント高く、配偶関係では最も高い。
 - ・ 三世帯世帯は「介護が必要な人がいる」の割合が 27.6%で、全体より 11.1 ポイント高く、属性項目の中で最も高い。

図表 2-3-6 介護が必要な家族の有無



図表 2-3-7 介護が必要な家族の有無(属性別)



お子さんは何人いらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。いない方は「0」とご記入ください。いない方は「0」とお答えください。

問7

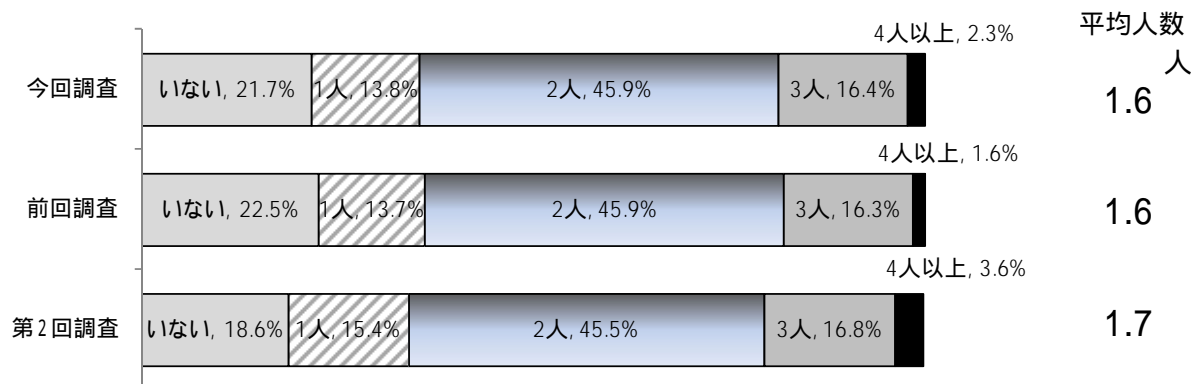
➤ 子どもの人数

子どもの人数は、「2人」が45.9%、「いない」が21.7%、「3人」が16.4%、「1人」が13.8%となっています。

なお、回答された方の子どもの平均人数は1.6人となっています。

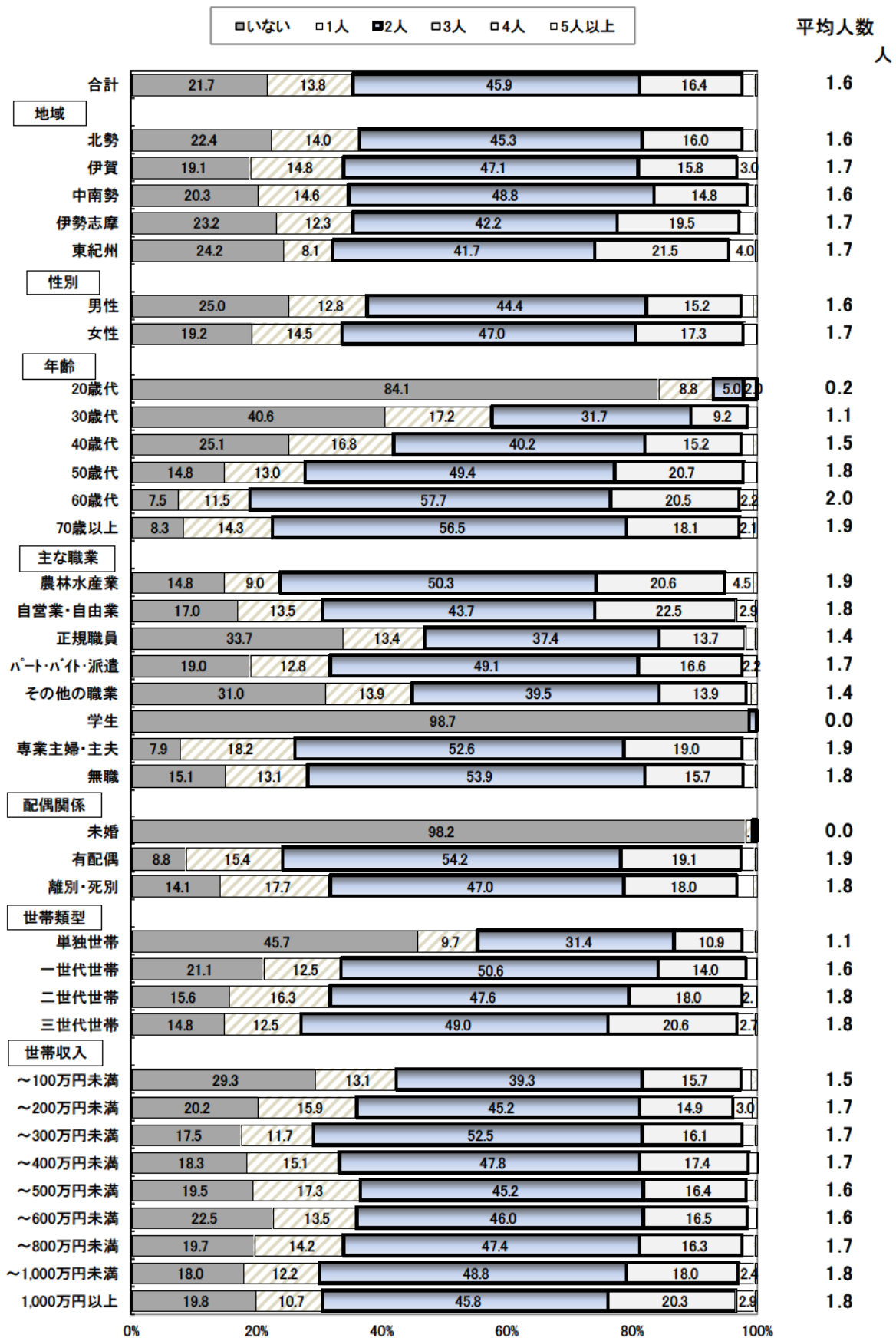
また、子どもの人数については、第2回調査以降、継続して質問していますが、大きな変化は見られません。

図表 2-3-8 子どもの人数



「不明」を除いて回答割合 (%) や平均人数を算出しています。

図表 2-3-9 子どもの人数(属性別)



※「不明」(未回答など)を除いて回答割合を算出しています。

あなたは、日ごろ、ご近所付き合いや地域での活動（自治会、青年団、子供会など）をされていますか。次の中から、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。（○は1つだけ）

問8

➤ 近所付き合いや地域での活動の状況

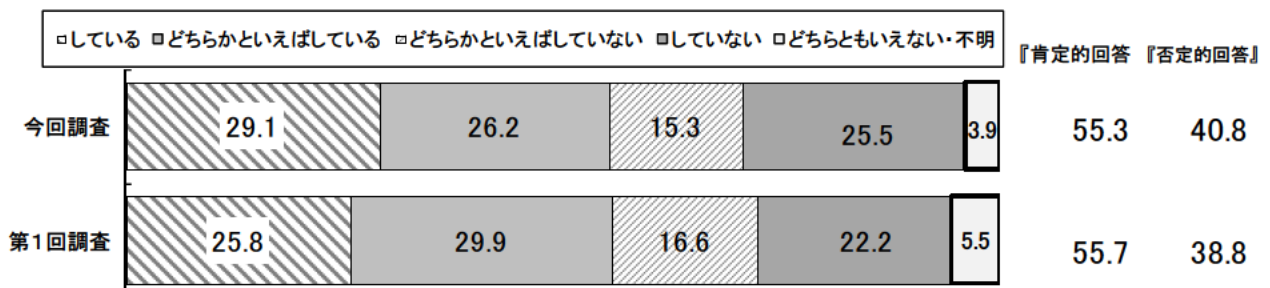
○ 近所付き合いや地域での活動の状況を質問したところ、「している」と「どちらかといえばしている」を合計した『肯定的回答』の割合が 55.3%で、「していない」と「どちらかといえばしていない」を合計した『否定的回答』の割合（40.8%）より 14.5 ポイント高くなっています。

第1回調査と比較すると『肯定的回答』の割合が 0.4 ポイント低く、『否定的回答』の割合は 2.0 ポイント高くなっています。

○ 属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

- ・年齢層が上がるほど「している」と「どちらかといえばしている」を合計した『肯定的回答』の割合が高い。
- ・農林水産業は『肯定的回答』の割合が 80.3%で、全体より 25.0 ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・正規職員は『肯定的回答』の割合が 44.3%で、全体より 11.0 ポイント低い。
- ・未婚は『肯定的回答』の割合が 20.3%で、全体より 35.0 ポイント低く、配偶関係では最も低い。

図表 2-3-10 近所付き合いや地域での活動の状況



図表 2-3-11 近所付き合いや地域での活動の状況(属性別)

